

教員志願者減少への対策について

【現状】

- 令和6年度の志願者数は、昨年度に比べ400名減少となった。ここ数年、志願者数は減少傾向にある。

大学新卒志願者数についても、令和6年度は239名減少した。

	志願者数	前年度比	うち 新卒数	前年度比	採用数	志願倍率
令和7年度採用	5,648名	▲400名	2,338名	▲239名	1,750名	3.2倍
令和6年度採用	6,048名	▲360名	2,577名	▲50名	1,610名	3.8倍
令和5年度採用	6,408名	36名	2,627名	180名	1,710名	3.7倍
令和4年度採用	6,372名	▲149名	2,447名	142名	1,570名	4.1倍
令和3年度採用	6,521名	▲235名	2,305名	▲15名	1,530名	4.3倍

- 教育実習生受入数は、令和6年度は181名増加した。

	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
小中学校	2,115	2,113	2,054	2,048	2,128	2,158	2,078	2,158
県立学校	829	818	707	708	707	700	689	754
合計	2,944	2,931	2,761	2,756	2,835	2,858	2,731	2,912
前年度比	▲130	▲13	▲170	▲5	79	23	▲127	181

1 採用選考試験変更点

- 令和4年度採用（令和3年度実施）教員採用試験
 - 筆記試験を第1次試験に集約した。
- 令和5年度採用（令和4年度実施）教員採用試験
 - 郵送による出願から、電子申請による出願に変更した。
- 令和6年度採用（令和5年度実施）教員採用試験
 - 「元教諭・講師経験者特別選考」において、従来の出願資格に加えて、市町村教育長の推薦がある場合、又は県教育委員会の選考により相当と認められた場合、第1次試験免除とした。
 - 特別支援学校教諭の区分において、受験時に特別支援学校教諭等免許状を所有又は取得見込みでない場合でも受験できるようにした。
- 令和7年度採用（令和6年度実施）教員採用試験
 - 試験日程を1か月前倒して実施した。
 - 「大学3年生等前倒し特別選考」を追加し、令和7年度に卒業する見込みのある大学3年生等に、第1次試験の受験を可能とした。
 - 「昨年度の補欠者に対する特別選考」を、第1次試験免除に変更した。
 - 「介護理由退職者特別選考」において、出願資格である「出願時に、退職日から3年以内」の条件を廃止した。また、第2次試験の論文を廃止した。
 - 特別選考や第1次試験の加点の受験資格の審査に必要な書類の提出期限を、申請時の5月中旬から合格発表後の9月下旬としたことで、書類準備に係る負担を軽減した。

2 教職の魅力発信

- 教職の魅力や学校の働き方改革に関する取組について、大学の教職担当者が参加する説明会や大学で実施する大学生に向けた説明会で積極的に発信した。
- 教員採用試験の説明会を、県内2会場、県外2会場で実施し、現職の教諭による教職の魅力紹介を行った。
- あいちの先生教員採用ガイドブック「やっぱり先生になりたい」を作成し、中学3年生、県立学校等へ配布した。
- 現任教員が、教員のやりがいや魅力について語る動画を作成し、愛知県教育委員会のHPからアクセスして視聴できるようにした。

3 教員地域希望枠

大学と教育委員会が連携・協働し、地域や学校現場のニーズに対応した質の高い教員を養成・確保するための取組（教員地域希望枠）に対し、文部科学省が支援を行う事業に愛知県立大学が採択されている。

4 教育コースの設置

平成30年度に半田東高校、豊橋南高校に教育コースを設置し、愛知教育大学や日本福祉大学、愛知大学と連携し、大学教授による講義や大学のゼミへの参加、半田市、豊橋市教育委員会の協力による小学校での体験実習など、教育に関する実践的な教育活動を行っている。